

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年2月24日時点)

▶ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への反撃を継続**する一方、**露軍は東部における占領地拡大に向けた作戦**や各地の**民生インフラに対する攻撃を継続**している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者5937人(ショイグ国防相発言22年9月21日)
: 死者約14万5850人、戦車3350両、装甲車両6693両(「ウ」国防省2月23日)
: 死傷者約18万人(クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)
「ウ」軍: 死者最大約1万3千人(ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)
: 死傷者推定10万人以上(クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)
「ウ」市民: 死者7199人以上、負傷者1万1756人以上(OHCHR2月13日)

露軍は、「ウ」各地に対しミサイル41発(うちS-300地対空ミサイル5発)による攻撃を実施。「ウ」軍は、ミサイル16発を撃墜(2月16日)

- プーチン大統領は、**新戦略兵器削減条約(新START)の履行を停止する旨**発言(2月20日)
- 同大統領は、今後も軍の装備近代化、とりわけ**戦略核戦力の装備更新及びミサイル戦力の整備を進める旨**発言(2月23日)

「ウ」軍参謀本部発表によれば、露軍はドネツク州及びルハンスク州全域を占領する企図の下、**ハルキウ州クピャンスク並びにドネツク州リマン、パフムート、アウジーイウカ及びシャフタルシケの各方面において引き続き攻勢に出ている模様**(2月23日)

ルハンスク州政府(「ウ」側)は、露軍に**UAVの運用方法を訓練**するため、**イラン人教官団が同州に到着した模様**と発表(2月17日)



出典:ウクライナ大統領府

バイデン米大統領は、キーウを訪問しゼレンスキー大統領と会談(2月20日)

- サンドウ・モルドバ大統領は、**露が同国の情勢不安定化と政権転覆を計画していることを把握した旨**発言(2月13日)
- 露国防省は、「ウ」軍がモルドバ東部のトランスニストリア地域(モルドバ政府の撤退要求に反して露軍が駐留し、モルドバ政府の統治が及ばず)への**侵攻を計画している**と主張(2月23日)
- モルドバ政府は、**上記の露国防省発表には根拠がない旨の声明**を発表(2月23日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が奪還した地域



- 英国国防省はドネツク州ウフレダルへの攻撃で**太平洋艦隊海軍歩兵第155旅団(ウラジオストク)及び第40旅団(ペトロパブロフスク・カムチャツキー)が非常に大きな損害を被り戦闘不能となっている可能性がある**との見方を発表(2月20日)
- 「ウ」軍参謀本部は、**太平洋艦隊海軍歩兵第155旅団に属する義勇兵部隊が損耗のため戦闘への参加を拒否している模様**と発表(2月23日)